

もっと知ろう みんなの議会



中城村

議会だより

題字:中城小学校6年 比嘉 恭佑 きょうすけ



中城村マスコットキャラクター

vol.55



一般会計予算

84億9,513万円

平成30年度一般会計の予算現額は、84億9,513万円で前年度比14億7,599万円、21.0%の増となった。主な要因は、総務費において新庁舎建設に係る経費の計上、委託料、及び工事請負費等、庁舎建設が本格的に開始されることと、民生費における障害者福祉サービス等給付費、認可保育所の移転工事等に対する補助金、農林水産業費においては、本村の農業振興計画として、農業ビジョン策定計画等で平成29年度に比較し、増額となっている。

一般会計予算に対する修正動議 (中城村観光協会への補助金)



採決の結果：賛成13名、反対2名、賛成多数で修正動議が可決され、観光協会補助金は削除されました。

中城村観光協会補助金1,402万2千円が計上されておりますが、理事や役員の人選も明示されてなく、又、年間活動計画も示されないまま、ほとんど人件費だけが補助金として計上されております。本協会は村の外郭団体として位置づけられるにも拘わらず、活動根拠となるべき「中城村観光振興基本計画」がまだ発表も公表もされていない状況にあります。

このような状況を鑑みますと、計上された中城村観光協会補助金は一旦凍結して予備費とし、手続きを踏んで、後ほど補正予算として計上すべきものと認識し、修正動議として提案します。

(反対意見)

県内では相当数の市町村で観光協会が設立されており、本村でも早期に観光協会を立ち上げて世界遺産である中城城跡を中心に観光振興を図り観光立村を目指すべきである。

一般会計予算に対する修正動議 (中城村立小学校における少人数(15人)以下学級に対する修正動議)



採決の結果：賛成7名、反対8名、賛成小多数で修正動議が否決され、原案予算どおりになりました。

少人数モデル事業の予算については、議案第3号での反対理由の中で述べたように、基本計画や根拠となるものがない。どのようにやっていくのか、実施計画もないまま、予算を認めることはできませんので提案します。

(反対意見)

児童の学力向上、発表の機会の創出を図り、教育環境を向上させるため、中城小、津覇小学校の空き教室を活用してモデル事業を行うものである。

委員会審査の経過と結果

【文教社会常任委員会】

- ・ 学校給食調理場：教育総務課長の所長兼務の現状を早期に改善を行うべきとの意見がありました。
- ・ 社会教育の充実を図る上で、社会教育主事の設置は義務であり、早急の配慮、処置を求める意見がありました。

【建設常任委員会】

- ・ 中城村観光協会補助金(1,402万2千円)については、組織を構成する会員数、役員数の記載もなく事業内容、事業収入も不明であり、新たに組織を設立するに際して基本計画、実施計画、会則(案)等を事前に作成し、予算審議に付すべきである。

平成30年3月定例議会 会期：平成30年3月5日～3月28日

平成30年度予算が決定

第2回3月定例会に上程された 議案、同意、報告、諮問、請願



中城村立小学校に勤務する教育職員の給与等及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例

採決の結果：賛成9名、反対6名、賛成多数で可決

提案理由： 中城小学校並びに津覇小学校における学力向上モデル事業の実施にあたり、村費による教育職員を任用するためこの条例を制定する必要がある。

賛成理由： モデル事業を行うことにより児童の学力向上、発表の機会の創出を図り、教育環境を向上させるため、空き教室を利用した、きめ細かな教育をめざしている。

反対理由： 本条例は、学力向上モデル事業を実施するにあたり、この条例を制定するとあるが、その学力向上モデル事業の根拠となる計画書、及び実施計画書もないこと。村教育委員会においても議論もない。教育長の独断、思いつきの事業であり、学力向上モデル事業といいながら、実は、空き教室の利活用とした、教育長の説明については納得できません。又、モデル事業を4年間終了後のことが不明確である。

この4カ年間の事業費は1億円あまりであり、今、社会問題になっている子ども貧困対策が優先されるべきである。沖縄県の学力の低さは、貧困が大きな原因であると言われている。ちなみに中城村の貧困率は、中学校で38%、小学校で27%である。調査の結果、モデル事業より子どもの貧困対策に財政投入することにより、学力向上すると思ひ、反対します。



中城村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

提案理由： 中城村の一般職員等と期末手当支給の基準日が異なっているため、職員に準じるよう改正する必要があるため。



中城村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

提案理由： 中城村の一般職員等と期末手当支給の基準日が異なっているため、職員に準じるよう改正する必要があるため。



中城村国民健康保険条例の一部を改正する条例

提案理由： 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、平成30年4月1日から施行されることに伴い、中城村国民健康保険条例の一部を改正する。



中城村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

提案理由： 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律（平成29年法律第2号）が平成29年3月27日に公布され、平成30年4月1日から施行されることに伴い、中城村国民健康保険税条例の一部を改正する。



中城村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

提案理由： 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、平成30年4月1日から施行されることに伴い、中城村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する。

特別会計予算



平成30年度
中城村国民健康保険特別会計予算
22億5,448万7千円



平成30年度
中城村後期高齢者医療特別会計予算
1億3,878万円



平成30年度
中城村土地区画整理事業特別会計予算
2億6,160万3千円



平成30年度
中城村公共下水道事業特別会計予算
2億7,237万5千円



平成30年度
中城村污水处理施設管理事業特別会計予算
250万7千円



平成30年度
中城村水道事業会計予算
収益的收入：5億2,611万円
収益的支出：4億9,567万3千円
資本的收入：3,100万1千円
資本的支出：1億5,323万4千円



財産の取得について

提案理由： 観光振興地盤強化整備事業（公共駐車場整備事業）用地に供する土地を取得することについては、議会に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を必要とする。



村道中城城跡線改良舗装工事（10工区）請負契約について

提案理由： 村道中城城跡線改良舗装工事（10工区）の請負契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を必要とする。



財産の取得について

提案理由： 中城村振興対策推進事業（吉の浦会館敷地内の私有地の買い取り事業）として、土地を取得することについては、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を必要とする。



平成29年度 一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,693万4千円を減額し、歳入歳出それぞれ80億2,939万5千円とする。



平成29年度 中城村国民健康 保険特別会計補正予算（第3号）

補正額：8,698万8千円
総額：29億8,193万8千円



平成29年度 中城村後期高齢者 医療特別会計補正予算（第2号）

補正額：1,254万6千円
総額：1億3,953万7千円



平成29年度 中城村土地区画整 理事業特別会計補正予算（第3号）

繰越明許費：土地区画整理事業費
2億223万円

※翌年度に繰り越して使用することができる経費



平成29年度 中城村公共下水道 事業特別会計補正予算（第3号）

補正額：131万5千円を減額
総額：3億1,638万9千円



平成29年度 中城村水道事業 会計補正予算（第1号）

資本的收入：補正額△50万円
合計：5,150万1千円
資本的支出：補正額△50万円
合計：1億4,634万1千円



教育委員会委員の任命
仲村春吉 氏



専決処分の報告
沖縄県市町村総合事務組合規約の変更について



平成30年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告



人権擁護委員の推薦につき意見を求める
新垣幸枝 氏



人権擁護委員の推薦につき意見を求める
奥間章夫 氏



中城村選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員：西波照間達也氏、米須恵子氏、仲眞勝治氏、普天間富士子氏
同 補充員：與儀勝彦氏、比嘉恵子氏、新垣善功氏、比嘉光子氏



南部広域行政組合議会議員の選挙
新垣善功 氏



閉会中の議員派遣



閉会中の所管事務調査



4月以降の米軍ごみ受け入れを拒否する請願書

採決の結果：賛成12名、反対3名、賛成多数で可決

本請願については、防衛庁より青葉苑建設時において米軍ごみ受け入れを条件に補助金を利用したが分別等の問題で米軍は民間廃棄物処理業者と委託契約を結んで現在に至っています。しかし、処理業者が営業停止になったため、青葉苑への搬入を要求し、管理者は許可しました。清掃事務組合議会にもならず、村議会にも説明もなく、村民に対しても一切の説明もない中で危険物の問題等を危惧して提出さ

少数意見（反対討論）

中北清掃事務組合が運営する青葉苑は、15年前に旧防衛庁施設補助で建設されましたが、その際、米軍基地キャンプ瑞慶覧内の一般家庭から出るゴミについて、同施設にて受け入れることを条件に付されましたが、分別がなされないとのことで、今日まで受け入れがなく、民間廃棄物処理業者で処理されてきました、民間廃棄物処理業者が県からの処理許可の取り消しがなされたために、処理ができなくなり青葉苑に受け入れ要請があり、青葉苑で処理することになり、分別は民間会社が行ったのちに搬入することになっており、危険物の混入はなく、また、国の会計検査から米軍ゴミの受け入れを、これまでやってこなかったことを指摘され、補助金交付の条件である米軍ごみ受け入れについて指摘されたことから、受け入れは不本意ではありますがやむを得ないものと判断して反対致します。

採決の結果

議案	議員	石原昌雄	比嘉麻乃	大城常良	外間博則	仲松正敏	新垣貞則	金城章	伊佐則勝	仲眞功浩	安里ヨシ子	新垣徳正	新垣博正	仲座勇	新垣善功	宮城重夫	與那覇朝輝
一般会計予算に対する修正動議 (中城村観光協会への補助金)	議決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議
一般会計予算に対する修正動議 (中城村小学校における少人数(15人)以下学級に対する修正動議)	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	議
中城村立小学校に勤務する教育職員の給与等 及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	議
4月以降の米軍ごみ受け入れを拒否する請願書	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議

「○」：賛成 「×」：反対 「議」：議長

クローズアップ

ここでは、そのうちの主な事業を紹介します。

きめ細かな児童生徒支援事業

4,557万円

村立幼稚園、小中学校において、特別に支援が必要な児童生徒等に対し、特別支援員を配置するとともに教育相談員、心理士等を配置し学校教育の充実を図る。



不法投棄対策事業

537万円

不法投棄対策のため、一般非常勤職員を配置し監視を行うとともに、不法投棄があつた場合は収集及び適正処理を行い、景観及び生活環境の保全を図る。



清掃事務組合等 運営負担事業

2億9,482万円

ごみの焼却、し尿処理のため、中城北中城清掃事務組合並びに、南部広域行政組合に対し負担金を拠出する。

施設型保育給付費負担事業

4,159万円

幼児期の学校教育・保育・地域の子ども達・子育て支援を総合的に推進するため、認定こども園に対し、国及び県、村の補助金を交付し、認定こども園の安定を図る。

村内文化財^{しっかい}悉皆調査・ 沖縄戦調査事業

2,528万円

村内各地域に残る文化財（民俗を含む）の^{しっかい}悉皆調査を実施し、文化財の位置や現況等を把握し整理公開する。併せて、沖縄戦について調査する。

ごさまる陸上競技場芝管理委託事業

1,264万円

ごさまる陸上競技場等、芝の維持管理を専門業者に委託することにより、仕上げを良くし、プロ・アマスポーツのキャンプ等の誘致を推進する。



水産物供給基盤機能保全事業

1,632万円

浜漁港施設が竣工より約30年が経過しており、施設の老朽化が顕著である。このまま施設を放置した場合、安全な漁業活動が出来なくなるため、長寿命化を図る必要がある。

平成30年度事業

平成30年度もいろいろな事業が予定されています。



観光振興地盤強化 整備事業

1億2,009万円

観光イベントやプロスポーツキャンプ等の観光受入基盤を強化するため、吉の浦公園付近に公共駐車場を整備し観光振興の推進を図る。



村内文化財整備事業（津覇のテラ）

556万円

村指定有形民族文化財である津覇のテラは、説明板や案内板がなく見学者に対し、歴史や文化的価値を伝えることができていない状況にあるため、整備事業を実施する。

新垣地区土砂崩壊防止事業

3,004万円

本地区は、数少ない優良農地となっているが、近年の台風や集中豪雨の影響により斜面崩壊が起こり、畑や農道等への浸水被害を及ぼしているため、対策整備を行う。



農業振興ビジョン策定 委託業務

1,174万円

本村の農業を取り巻く社会情勢や国・県の動向等を踏まえ、本村の農業振興を総合的・計画的に推進するための「中城村農業振興ビジョン」をH30年～H31年で策定する。

中城地区農道舗装事業

4,304万円

当間土地改良地区第二地区内（当間～屋宜）における農道をアスファルト舗装することにより粉塵飛散を防止する。

村政を問う!

一般質問

平成30年3月定例議会

※質問者が会議録から要約した
原稿を編集しています。



金城 章 議員

多数の正職保育士採用を

議員 保育士（臨時職）の給与改善をどう考えるか。正職員と臨時職員の給与差をどう考えるか。

福祉課長 臨時保育士の給料は平成27年度に日当6,800円から7,200円へ改定しました。本年度より月額172,300円に改定し交通費2,000円を支給しています。今後については改定が必要だと感じております。
総務課長 村の常勤職員は村の必要とする人材として競争試験による採用を原則としています。給料につきましても条例に定められた額を支給しています。非常勤職員の中には、常勤職員と同様な業務を行っている職員もおりますが、一般的に業務内容は常勤職員の補助的な業務に当たる場合が多いことから給与には差があります。

議員 中城村の保育所の保育士は何名が正職で非常勤は何名か。
福祉課長 平成30年予定で保育所の入所人数は150名近くを予定しております。保育士は25名を確保しており9名が本職員、16名が一般非常勤職員であります。吉の浦保育所では職員と同等にクラス担任を行っている非常勤職員もおります。しかし、本職員がいろいろ相談したり指示したりを担っております。
議員 保育士の非常勤と正職は同じ仕事をしている現状です。村長、吉の浦保育所の保育士は半数以上を正職で雇い入れる考えはないか。
村長 財政的なこともありませんが、役場の職員、保育士も全員正職がいいと思います。日本の全ての職種に関連してきますが全てが充足できるわけではありません。保育所に関しても民間委託、あるいは民営化という話が出ます。しかし、我々中城村に公が責任を負うべきものが保育だに外せられないものが保育だと思つて、一つの器は絶対になくしてはいけないものだと考えています。例えば給食センターなどについても十分民営化が進んでおりますが、その部分も子どもの命に関することです。口に入れるものに

ついては、公で責任を負わなくてはならないと、この二つは私の中では維持していきたいものであります。
議員 村長は公の責任と言われました。やはり公の立場にて吉の浦保育所から正職員を増やしていく、村内の認可保育所に保育士が安定した仕事につけることだと私は考えていますので、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。

中城村の新たな教育を 目指して

議員 少人数学級にて中城村独自の知的な教育方針での取り組みを行つてはと考えるがどうですか。
教育長 本村の教育方針は、「心身共に健康で豊かな知性と人間性を育み激動社会の変化にたくましく生きる人を育成する」としています。知・徳・体育とバランスの取れた子どもを育成したいと考えています。

※ 他に、「新庁舎建設、本村の財政運営と予算、観光振興・協会、人材育成と貧困問題、教育環境の質問がありました。



比嘉 麻乃 議員

安心・安全な学校給食

議員 給食は、子供達の健康を維持するだけでなく、自然の恵みへの感謝の気持ちを育てる食育の面からも注目されています。本村の安心・安全でおいしい給食を提供するための取り組みを伺います。

教育総務課長 外国産食材は使用しているならば、その理由は、外国産食材を使用しているか。使用しているならば、その理由は、
教育総務課長 外国産食材は使用しています。理由は学校給食は大量の食材を使用しているため、確保できない食材などは冷凍の輸入品を使用しています。
議員 外国産の安全性について伺います。
教育総務課長 国のほうで検査が確実に行われているため安心安全な輸入食材を使用しています。

議員 中城産の食材は何を使っているか。
教育総務課長 主に大根、ほうれん草、キャベツ、ジャガイモ、セロリ、タマネギなど、季節に合わせて使用しています。
議員 JAや地元農家さんと提携は結んでいるか。
教育総務課長 結んではないが、コーデイナーターが連絡を取りながら食材を調達しています。
議員 平成29年度、本村学校給食の異物混入の報告は。
教育総務課長 マッシュルームの根っこ、かつおぶしの小骨、ハンバーグの焦げ等の報告がありました。
議員 給食時間の私語を避けるため『黙食』を実施している学校がありますが、それに期待するものは。
教育総務課長 給食時間は20分と設定しており、しっかりと食事を摂取してもらつたためです。
議員 児童の中には親の帰りが遅く夕食も1人で食べている子供もいるので給食くらいはみんなで会話を楽しみながら過ぎてほしい

です。
そして、中学3年生の最後の給食はいつもと違う献立にしてほしい。
それに伴う費用不足を村が負担する考えはないか。
村長 学校や教育委員会で一度再考してもらい、足りないということであれば真剣に考えさせて頂きます。
ひとり親世帯の支援
議員 母子父子家庭医療費の領収書を役場に提出しなくともよい自動償還払いにする予定はないか。
福祉課長 平成30年8月から自動償還払い導入予定です。
**子ども医療費
病院窓口無料化**
議員 県は平成30年10月から未就学児を対象に窓口無料化を導入するが、本村独自で中学校卒業までの窓口無料化の考えはないか。
村長 現在、ペナルティーの数値を出してもらつており、その数値がはっきりと出た段階で決定したいと思います。



大城 常良 議員

待機児童解消は

議員 平成30年4月時点での待機児童数は何人か、また平成31年度増改築予定の保育園及び、小規模保育事業所の増築は。

福祉課長 4月1日時点の待機児童は1歳児が37人、3歳児が3人、4歳児2人の合計42人です。平成31年度開所予定は小規模保育所19人、CEC・クリスチャン幼稚園の分園で108人、マシュー保育園が60人の増加、合計で187人の定員増である。平成30年度開所を含め合計で335人の定員増となります。

議員 待機児童解消には十分な施設の確保とそれに伴う保育士の確保、両方が揃って初めて待機児童ゼロに向けての最終段階だと思います。平成31年度中には「待機児童ゼロ宣言」できると進めていただきたいと思います。

村立幼稚園の将来像は

議員 中城、津覇幼稚園は園舎の老朽化に伴い今年度中に方向性を決定するところであったが方針は決定したのか。また2年保育を提案したが教育委員会で議論されたか。さらに教職員の配置計画はあるか。

教育長 財政上、土地を買って2ヶ所に幼稚園を建て替えることは無理であり、現在1ヶ所に幼稚園をまとめる方向で進めている。

教育総務課長 2年保育は教育委員会会議で幼稚園の建て替え等の議論と合わせて行っています。また配置計画等は立てていません。

議員 年次の計画書を作成しないと現場は大変困っている、現場の不安や問題を解決するのが教育委員会の仕事でありしっかりと取り組んでいただきたい。

学力向上モデル事業

『15人学級』は

議員 平成30年4月より空き教室を利用して中城、津覇小学校の1年生から3年生を対象に15人学級が提案されたがプロセス及び、予算の総額と4年間のモデル事業で終了するのか、また

議会に対し、事前説明は果たされたか。

村長 事前説明の部分で先に新聞報道がされて議員の方々が知らなかったという部分で議会を軽視したとか事前説明を怠ったとかではございません。

教育長 全国教育長会での講演会を聞いて進めたいと考えて、教育委員会の会議で同意を得て進めてきました。4年後については良い方向に変容すると考えて現段階では継続していきたいと思えます。

教育総務課長 予算の総額としては年間3,593万8000円となっています。

議員 本村にはもつと優先して予算を使い解決しなければならぬ問題があり、4年合計で1億4,400万の予算を計上し、さらに4年限定の事業、教育の平等を考えると保護者の理解が得られるか心配であり、時期早々ではないか、しっかりと計画を立てて進めていただくよう強く要望します。

※ 他に中城村観光協会の設立について予算、基本計画、実施計画書の質問がありました。



石原 昌雄 議員

子育て環境の充実

議員 平成30年度の施政方針で、子育て環境の充実があり、教育環境の向上、健やかに子育てができる、安心して子育てができる環境の整備が掲げられています。

①平成30、31年度の認可保育園または、小規模保育所の増設計画はあるか。
②学童クラブの待機児童はいまですか。今後の学童クラブの増設支援計画はあるか。
③上地区に児童館が求められていますか、計画はあるか。

村長 子育て環境の充実について、妊娠期から保育、教育と関連性の強いものがあります。それぞれにに応じて環境も整えていきたい。学童クラブにつきましては、小学校の空き教室を利用して学童クラブを開設しておりますので、待機児童

の解消に努めていきたい。

福祉課長 ①30、31年度で小規模保育所2か所、認可保育園3か所が開所し、合計335人の定員増を予定しています。30年度は、分園、施設増で60人の増員を予定しています。③上地区に児童館は必要と感じていますが、計画には至っていません。

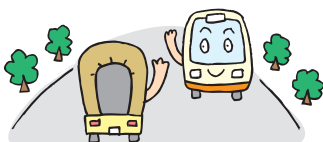


道路整備計画は

議員 本村における道路事情で交通渋滞が、国道329号奥間付近、県道29号線南上原から北上原にかけて朝夕は慢性的な状況となっている。生活道路の整備も進めて行くべき路線が残っている。今後の整備計画を問う。①国道329号及び県道29号線の渋滞解消はどのようになっているか。②村道2級路線登又の

三田線の整備計画はあるか。③南上原の井水線及び新田線を新川線に接続するにはどのような方法があるか。

都市建設課長 ①村としては用地買収難航箇所が早期に解決されるよう、国道事務所と用地交渉に全面的に協力します。県道29号線の拡幅については、以前から交通渋滞が慢性化しているため県道を管理する中都市木事務所へ再三要望しております。②村道三田線の整備計画はない。③当該路線は道路事業で整備する計画はありません。南上原土地区画整理事業が終盤にきていますので、井水原への区画整理事業のA調査、B調査を検討していきます。村道新川線も含めての調査になるので、区画整理事業を行うことで、接続が可能となります。





外間 博則 議員

本村の観光振興

議員 観光協会の具体的な取り組みや計画は。

村長 4月からしっかりと村民の皆さんの期待に応えられるように観光協会をスタートしていきたいと考えています。全般的なものではありませんが、その中には農産物あるいは特産品、漁業も含めた観光協会が担うこととなりますので、しっかり中城村の農業、第1次産業をアピールしていきたいと思っています。

議員 観光協会の運営する職員、役員等の配置について伺います。

企業立地観光推進課長

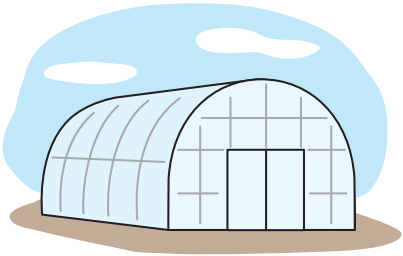
観光協会の役員については、中城村観光協会設立準備委員会の答申に基づいて役員に会長1名、副会長1名、理事5名以上、監事2名となっています。事務局については、事務局長1名、職

員3名、臨時職員4名、出向職員1名という計画でございますが、予算縮減のために総務省の地域おこし隊を導入したいと思っています。

農業振興ビジョン

議員 本村の農業は、高齢化による労働力不足、後継者不足、担い手不足で農業が衰退傾向にあります。現状を解消するために農業振興ビジョンが作成されますが、その内容は。

農林水産課長 農業振興ビジョンの作成につきましては、2カ年計画で策定を行います。初年度となる平成30年度は、本村の農業の現



状と課題を把握するアンケート調査やヒアリングを実施し、分析を行っていきます。そして2年目となる平成31年度に分析結果をもとに営農、農地、農作物及び観光など、農業全般を網羅したビジョン策定に取り組みたいと考えています。

議員 本村の伝統野菜である島ニンジン、島ダイコンの品質向上、種子の研究を行っているようですが、その成果は。

農林水産課長 成果としては、黄色固体を選んでいます。優良固体選抜を行うことで一定の品質の選抜は行っており、品質向上を図るため今年度も継続して選抜を行ってまいります。



***施政方針を受けて職員の意識改革**

議員 職員の意識改革を計り組織の強化に繋げる取り組みとは。

総務課長 各種研修へ職員を派遣する事により、職員一人一人が全体の奉仕者である事を自覚し、個々の能力を通してよりよい行政サービスの提供ができるように努めて参ります。

産業経済の活性化

議員 特産品の生産拡大、販路拡大の支援に向けた取り組みを行い、特産品のブランド化を目指す。具体策は。

農林水産課長 島人参については、黄色い島人参の拡充を目指す。島大根は試験圃場を確保し、種苗を増やし農家へ配布、生産の拡大を計る。販路の拡大は、フェアの開催、飲食店への営



新垣 徳正 議員

業、JA市場と連携、販売促進に努める。ブランド化については、農林水産省が所管する地理的表示保護制度(G・I)の登録に向け、農家、JA関係機関と調整中。

観光振興

議員 一括交付金頼みの観光客誘致の取り組みも、総括の時期だと考えます。今後の展望は。

企業立地観光推進課長 可能性としては、独自事業や民間のイベントを誘致できるものと考えているが、本村の財政状況を鑑みて、単独での新規事業や、祭り、イベント開催はとて厳しい状況にあると認識します。他の補助事業の検討を行う必要があると考えます。

平和社会を創設する

議員 次世代を担う子供たちへの平和教育の在り方を



どう認識し、その継承の取り組みをどう評価しますか。
村長 読谷村でのチビチリガマの件に衝撃を受けて居ります。その事を踏まえ、平和継承と言う部分を主に施政方針の中で考えを述べさせていただきました。平和の継承がしっかりとできていくのか、そのことも含め、我々大人も非常に反省をし、しっかりと、取り組みが必要があるものと考えています。

教育長 平和教育については、学校経営計画に於いて、平和教育の指導に関する年間の指導計画を作成し、計画的に平和教育を実施しています。次世代への平和継承の取り組みについては、平和学習の為に講師を招き講習会の開催、平和公園へ出かけて行って、平和学習の取り組み等を行ってまいります。



仲真 功浩 議員

唐突な15人少人数学級

議員 少人数学級制の導入に関して、教育委員会とのコンセンサス、PTAや保護者への説明はどうなっているのか。

教育長 教育委員会では、もっと話し合いを深めて来年からでもいいのではないかと、高学年や中学校での導入はどうか等、色々な意見が出されましたが、最終的には同意をもらっております。PTAや保護者への説明に関しては行う予定はありません。

議員 教育環境が大きく変わると、小1プロブレム、中1ギャップ、高1クライシス等々、色々と学校教育上の問題が発生します。少人数学級制を小学校3年で打ち切る事で、小4プロブレムの発生を危惧するが、十分話し合われたか。

立てが手厚くできるので、そのままスムーズに小4に移っていきけるものと捉えています。

議員 PTAや保護者への説明もないます。又、考えられる色々な問題を十分検討しないまま、教育長の強い思いだけで見切り発車している。(南小学校への導入は全く考えてないというのは)教育の機会均等からも問題がある。

農業振興

議員 4月で種子法を廃止するという事で、今後の米や大豆等の種子の安定供給がどうなるかと危惧されております。本村においても伝統的な島野菜の種子の保存が重要な課題だと考えています。対応は?

農林水産課長 今年度、独自のほ場を設置、指導員1名を配置して、島ニンジンや島ダイコン等を栽培し、農家に安定した種子を提供できるようにしていきたいと考えています。

議員 種子の保存と言うのは大変大きな問題です。世界的には種子戦争と言われるくらいに関心事項です。中城の島野菜の種子保存に

はしっかりと取り組んでいくことを強く要望します。

農業青年クラブの支援強化

議員 若い農業従事者で結成した「中城村農業青年クラブ」が発足しましたが、サポート体制はどうなっているか。

農林水産課長 去年発足したばかりですので、中城村の農業をどのように生かすのか、若い青年が農業しやすい環境造りにどう取り組んでいけばいいのか等々、会員と話し合いしながら、農業に携わる若い青年を増やしていきたいような事をやっていきたいと思っております。

議員 後継者・従事者の育成はまず成功事例を作るのが一番だと思います。農業青年クラブの皆が農業従事者の成功事例になれるよう、JAとも連携しながら支援して頂きたい。



議員 中城小と津覇小での児童数減少による空き教室活用で1年生から3年生までを、少人数学級にする「学力向上モデル事業」を新年度から4年間実施予定ですが、教員確保は万全か。

教育長 この事業を進める上で大きな課題の一つでした。村独自で教諭を採用することができなければ、この事業は実施できません。県教育庁・中頭教育事務所をはじめ各関係機関や関係者に相談・紹介を頂き7名を確保することができました。

議員 本事業の財政措置については。

教育総務課長 歳入については沖繩振興特別推進交付金をチャレンジしています。歳出は、人件費等に於いて3,593万8千円を計上しています。

議員 財源の課題もある



伊佐 則勝 議員

学力向上モデル事業

こども医療費助成事業

議員 県は「こども医療費助成事業」に関して、今年10月より未就学児童を対象に現物給付を導入することになりましたが、制度導入への準備体制は。

健康保険課長 導入時期も県と同様に10月導入予定で進めておりますが、システム改修等があり、今後変動する可能性もあります。

議員 本村では、中学卒業までの医療費を無料拡充しており、現在自動償還方式で対応しているが、村独自の現物給付の対象年齢の拡大の考えはないか。

村長 こども医療費については子育て支援の一環です。第一義的に真剣に考えさせて頂き、積極的に取り組んでいきたい案件であると思えます。

健康保険課長 対象年齢の拡大については、減額される交付額を精査し検討していきたいと考えます。

消防団の充実強化

議員 消防組織は、常備消防(消防職員)と非常備消

防(消防団)の二つの組織でもって、火災を初めとする各種災害から、地域住民の生命・財産を守っています。東日本大震災の教訓を踏まえ、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、

地方公共団体も消防団の抜本的な強化を図るため、必要な措置を講ずる事になりました。消防団の育成強化や増員対策は。

総務課長 消防団は、消防職員と共に地域防災力として重要な役割を担っています。災害対応能力を向上する知識・技術習得のため、消防学校派遣、火災・防災訓練等に参加し、団員の育成強化や団員確保に取組んでいます。

議員 県内30消防団のうち中北消防の条約定数と実員数がかなり少ない状況であり、団員増が当面の課題と考慮するが。

村長 管理者会議の中でも出てくる案件ですので、団員増については真剣に取組まないといけないと思っています。

※ 他に、国民健康保険の新制度についての質問がありました。



新垣 博正 議員

普天間基地所属ヘリからの部品落下事故

議員 昨年の12月7日に宜野湾市野高の緑ヶ丘保育園の屋根に米軍普天間基地所属大型ヘリCH53Eより部品が落下した事故及び同月13日には普天間第二小学校に同型ヘリより窓が落下しました。

中城村上空も同型ヘリは、日常的に訓練飛行を続けているが、教育委員会で小学校上空を飛ばないよう要請すべきと考えるがどのような対応をとったか伺います。

教育長 学校上空を米軍機が飛ばないための対応について協議したことはありません。米軍による落下物で子どもたちが危険にさらされることはあってはならない。今後話し合いを持って検討したい。

はどのような対応をとられたのか。
福祉課長 村保育所連絡協議会での要請はありません。今後の協議において園長、所長等と相談して対応を図ります。

移民調査事業の基本方針は

議員 中城村移民調査事業の基本方針について伺います。

生涯学習課長 中城村の海外移民は泊出身の方を始めに戦前6、382名の方々が移民され県内で最も多くの移民を出しておりますが、資料として中城村史第1巻、2巻において大まかな概要と証言が少し掲載されているだけで移民先での生活体験、コミュニティーなどの暮らしの様子、実態、そして活躍についてほとんど把握されておりません。本村の近代史を語る上で重要であり写真や資料収集、文献収集を行い、それらをまとめたものを成果物として発刊する予定です。

文化財整備事業

議員 津覇のテラ文化財整備に際し同敷地内にある沖

縄戦当時コンクリートで堅固に構築された防御陣地（トーチカ）が現存しています。合わせて調査し戦争遺跡文化財に指定できる可能性があると思われませんが所見を伺います。

生涯学習課長 トーチカを構築した際のことについて詳しい方からの聞き取り調査を行いたいと考えております。このトーチカは保存状態がよいことから沖縄戦を語り継ぎ風化させない意味からも161・8高地同様に戦争遺跡として村の文化財に指定していきたいと考えております。

中城村非核宣言文の揭示を

議員 村民に対し平和の尊さ、その意識の高揚を図り次世代に語り継ぐ意味から1985年に「中城村非核宣言」をしました。その「宣言文」を村内に揭示し普及する考えはないか。

村長 施政方針の中でも述べさせていたいただきましたが、担当課と詳細を詰めて揭示できるように努めていきたい。



仲松 正敏 議員

認知症対策

議員 本村における高齢者の認知症日常生活支援度Ⅱ以上の高齢者は何人おられるか。今後増え続ける認知症については、予防の推進や対策をどのように考えているか。

福祉課長 介護認定を受けている65歳以上の認知症高齢者の日常生活支援度Ⅱ以上の人数は平成28年度末583人となっております。認知症対策としては、包括支援センターに認知症事務局を設置し、認知症推進員、認知症キャラバンメイトの配置により、認知症サポーターを要請し、啓発活動に取り組んでいます。

議員 若年性認知症は認知症高齢者に比べると、社会的認知度が低く、多くの方々に周知し、今後の施策につなげていくことが重要だと考えますが、若年性認

知症の方に対する支援、施策の現状は。
福祉課長 若年性認知症は40歳から65歳までの方が包括支援センターのほうに相談に来られたという事例は少なく、これまで50歳代の男性が1人相談に来られております。支援、施策としては、介護保険制度の説明、介護保険制度の申請を促し、北中城若松病院内にある認知症疾患センターへつなげています。

村道管理状況は

議員 側溝の多くは住宅地域内に設置されていて昼夜問わず側溝ふたから騒音が発生し、住民生活に悪影響を及ぼしています。そのような騒音公害についてはどのように考えているか。
都市建設課長 地域住民から同様な相談があり、2カ所の修繕を行っております。修繕内容としては、グレーチング側溝から埋設型側溝への変更を行ない騒音が出ないよう改善されております。ただ、埋設型にする場合もあるため、騒音場所の確認を行い、最善策を検討したいと思っております。

既設の排水機能に支障を来す場合もあるため、騒音場所の確認を行い、最善策を検討したいと思っております。

議員 村道でも潮垣線は車の通行量が多くて、北浜・南浜地区においては、住宅地域の真ん中を道路が通っていて、多くの住民がその側溝から発生する騒音で困っています。年次的に改善できないか。
都市建設課長 改善については現場確認後、その路線については、今は騒音の出ないものがあります。また、新たな維持管理の資材が出ていますので、これを含めて本当に騒音がひどいところからやっていきたいと思っております。

河川の整備状況は

議員 中城村と宜野湾市との境にある普天間川について登又自治会の区民より、河川の整備や里道、また野高地域から河川に流れてくる水質に問題があるとのことですが、村はどのように考えているか。
都市建設課長 普天間川の維持管理に関しては、県管理となっておりますが、場所が特定できれば、村から中部土木事務所に連絡いたします。排水の水質についても、関係課と調査して対応をしていきたいと考えます。

排水の水質についても、関係課と調査して対応をしていきたいと考えます。



安里 ヨシ子 議員

ゴミ問題

議員 ゴミ問題に関し女性団体との連携を考えていますか。また、減量化の計画は。

住民生活課長

女性団体との連携は実施していません。分別収集を開始した初期は婦人団体と連携をしていましたが業務の効率化のため一般廃棄物処理業者へ委託しています。ゴミにならない買物への意識を住民、及び小売店等への浸透、生ゴミなどの堆肥化、ゴミの資源化の推進といった施策を住民と事業者協同のもと実施してまいります。

議員 村婦人会において交通安全、防犯協会等あらゆる団体への協力事業等で果たす役割は大きいと思えますが行政として支援の方法は。

村長 行政としてでき得る

限り最大の支援をやっていきたい。婦人連合会、村老連、文化協会等村の柱でございます。行政として何ができるか真剣に取り組んでいきたい。

教育長 村婦人連合会はとても意義深い活動をしており、子供達の健全育成の面でもとてもありがたいと思っております。教育委員会としても支援をしていく所存です。

生涯学習課長 現在婦人会の課題であります、役員の成り手不足への対応につきまして新たな会員の確保について村民に呼び掛けるため広報誌の活用募集の掲載等をやっている。今後婦人会と意見交換しながらできるかぎりの支援をしていきたい。

議員 以前、女性問題懇話会という組織がありました。女性の地位向上を目的に設置されていたと思いますが、必要の無い組織だったのでしょうか。

総務課長 当時男女平等の意識改革のため啓発を行い女性に関する施策のあり方について調査研究する必要があるので設置された委員会だったと考えてい



ます。

議員 ゴミ問題に対して婦人会全員で一つの事業に取り組む中で会員同士のコミュニケーションとか結束ができた村の活性化につながると思います。

村長 柱となる団体でございますので、できる限りのことをやらせていただいで、魅力ある婦人会をどうやってつくっていくか一緒に考えていかなければと思っております。

空き教室利用 15名学級導入



宮城 重夫 議員

議員 小学校1年生と3年生まで低学年の学力を向上させるのに年間5千万円の予算が必要か？小学校4年生以上高学年から、中学生までの学力を向上させるべきと思いますが？

教育長 15名程度の少人数で個に合わせたきめ細かな指導を小学校の低学年で実施することによって、知識の習得、認知能力を高めることが出来ると捉えています。高学年、中学校に行ってもスムーズに認知できるようになり学力向上につなげたい。

教育総務課長 主に教諭7名の人件費として3,593万8千円計上しています。

議員 普通人数のクラス編成にすれば、人件費は県費で対応できるのではないですか。

教育総務課長 県の基準にあわせて、35名学級等を編成すれば、県の予算で職員は配置されます。

教育総務主幹 30年度の受給計画で県職員配置の計算では中城小学校においては1年、2年、3年共、通常の2クラスです。

中城村の今後の土地利用計画

議員 下地区の伊集から久場までの地域に子育て世代、働き盛りの世代が増えないために中小、津覇小学校の児童生徒も増えない現状だとおもいます。均衡のとれた中城村のさらなる発展に向かって那覇広域圏からの離脱も視野に、その他の方策で土地利用計画の見直しの時期だと思えますが？

村長 下地区、市街化調整区域では人口は1.6%ほど減っております。しかし、世帯数は6.8%程ふえています。非常にハードルは高いですが那覇広域都市計画、中部広域都市計画移行も含め、出来るかぎり私の任期中にある程度の結果を残したいと思

います。

地区ふれあい事業

議員 ふれあい事業で各自治会への補助金153万4千円が平成30年度は予算計上されてないが何故か？

福祉課長 対象者が高齢者だから健康保険課から介護予防へ事務移管となりました。介護広域より地域支援事業として収入が見込めます。総額472万2千円の内訳として、看護師人件費279万6千円、各地域への助成金166万5千円、消耗品、雑費として26万1千円が計上されています。

※ その他中城村へ高等学校の誘致が出来ないかの質問がありました。



新垣 貞則 議員

久場地区の環境問題

議員 第1児童公園、バスケットの設置及び公民館

前の排水路対策は。

都市建設課長 一括交付金

で遊具の設置を3月30日までに終わる予定です。バスケットは一般財源での設置になることから、利用状況を検証して、必要かどうか判断します。

公民館前の排水路対策は、業者選定をして、随意契約で4月からやっています。

高齢者の健康づくり

議員 中城村第4次総合

計画の後期基本計画の中に、高齢者の福祉の充実として、老人福祉センターの老朽化に対応するとありますが、今後、老人福祉センター建設に向けての取り組みは。

村長 ハード部門の建物、

老人福祉センターだけでなく、喫緊のものとしては、庁舎建設が始まり、中城南小学校の増設、中学校のプール等があり、一括して全てができないので優先順位をつけ、財政的な部分もありますので、今ある建物でやっていかざる得ない状況というのは、ご理解いただきたいと思います。

吉の浦公園を整備して「とよむ中城」を図る

議員 吉の浦公園入口の国道329号、花園の現状は。

総務課長 吉の浦公園入口付近の花園は、久場美ら島遊花会の方々が、コスモスやペゴニヤ等を植えて、

たくさんの方が咲き誇り、人々の心を癒している事に対し心より感謝を申し上げます。



議員 吉の浦公園整備計画の村民アンケートの結果は、ウォーキングコースを整備してほしいが一番多いですが、どのように整備する考えで、何時ごろ開始して、何時ごろ終わる予定ですか。

生涯学習課長 整備方法は、

コース路面の整備でゴムチップ（全天候ウォーキングコース）等、素材の改修やフットライトも含めた照明等の増設、コースの距離表示などを計画しています。平成30年に実施計画を行って、平成31年度、平成32年度で工事ができればと思っています。

議員 吉の浦公園機能強化

整備計画を着実に進めることと「とよむ中城」が図られる。琉歌に「とよむ中城

吉の浦のお月 みかげ照りわたて さびやねさみ

中城村では「とよむ」とは、文化、生活、全ての面で活気があり、世に響き渡る理想的な村の姿を表しています。

今後、吉の浦公園を整備して、活気あふれる公園、「とよむ中城」にして下さい。



新垣 善功 議員

職員の規律と倫理教育について

議員 職員の規律と倫理教育

については、日頃から実施されていると思います

が、今年の1月17日の新聞

で、県青少年保護育成条例

違反で本村役場職員が警察

に逮捕されたとの報道に村民は大きなショックを受け

たと思います。この様な事はあつてはならないことで

あり、次の点について伺います。

●今後の再発防止はどの様に

取り組んでいくのか？

●再発防止策は策定されているのか？

●監督責任の所在は、その処分内容は

どうなっているのか？

副村長 再発防止策は策定

しておりません。庁議（課

長会議）等を通して、職員

に対する声かけ、異変等について常に気にかけていく

ことを確認しております。

尚、「公務員倫理」に関す

る研修は定期的に実施したいと考えております。監督者の処分は、当該職員の処分が決定後に検討したいと考えています。

議員 早急に再発防止策を策定して、二度とこの様な事件が起こらない様にするために、職員に対しての規律や「公務員倫理」の徹底を図るべきであり、監督責任も明確にする様指摘します。

少年数学級学力向上モデル事業について

議員 議会には事前

に何の説明もなく、新聞報道で知り、唐突でびっくりしまし

た。そこで、次の点について伺います。

●教育委員会では十分に議論されたか？

●基本計画書及び実施計画は策定されているか？

●モデル事業終了後も継続していくのか？

教育長 教育委員会では話し合

いはしています。基本計画は策定して

おりません。中城村の教育に基づき

ました。実施計画は策定して

おります。終了後のことについて

は、教育委員会としては

できれば継続して行きたいと

考えております。

議員 委員会の議事録を見

ますと、充分議論したとは思

えない。実施計画はたった一枚

ですか。これで実施計画と言

えますか。また、村長が本会議場で、記事をスクープした新聞記者の情報収集能力を絶賛しましたが、裏を返せば、我々議員、議会もバカにし、軽視していると思えない。村長は軽視してないと弁解しているが、誰が記者に情報を流したんですか。今後は、新規事業等を行う際は、マスコミに発表する前に議会に報告（説明）する様に強く指摘します。



自治功勞表彰

平成30年2月20日、沖縄県町村議会議長会 会長 小渡久和氏より、本村議会議員の與那覇朝輝氏、仲座勇氏、新垣博正氏の3名が、町村議会議員として11年以上在職し、地方自治振興に寄与した功績を称えられ表彰されました。



新垣博正氏



與那覇朝輝氏



仲座 勇氏

特別委員会設置

議会基本条例調査特別委員会

目的

特別委員会は、本村において議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくため、本村議会における議会基本条例を制定するための調査、研究を行うことを目的として設置する。

委員 長	副委員 長	委員	委員	委員	委員	委員
新垣 博正	仲松 正敏	外間 博則	新垣 貞則	金城 章	仲真 功浩	新垣 善功

議会定数・報酬等調査特別委員会

目的

特別委員会は、本村において議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくため、本村議会における適正な議員定数及び報酬について調査、研究を行うことを目的として、設置する。

委員 長	副委員 長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
石原 昌雄	大城 常良	比嘉 麻乃	伊佐 則勝	安里 ヨシ子	新垣 徳正	仲座 勇	宮城 重夫



町村議会議員・事務局職員研修会

と き：平成30年2月22日（木）
 ところ：南風原町立中央公民館

市町村行政・財政・税政等の状況

講師：松永亨氏

（沖縄県企画部市町村課課長）

沖縄県市町村課では、各班ごとに分掌事務を行っています。

（行政班）主な業務として（平成30年度～平成34年度）で設定し、沖縄県行政運営プログラムがあります。

その内容は、①平成26年度～29年度までを実施期間とした「第7次沖縄県行政改革プラン」にかわる新たな行政改革に係る計画。②「21世紀ビジョン」の実現に向けて、行政の質の向上を重視し、常に県民本位の行政運営を推進し、「L」ジョン基本計画」等の取組を推進する基盤として位置づけています。基本方針として県民への情報提供の充実、多様な主体との役割分担を推進し、重点実施項目として、市町村への権限移譲の推進、地方分権の動向を踏まえ、市町村へ権限移譲することにより、住民サービスの向上と事務の効率化に資することを目的としている。

（財政班）平成30年度地方財政対策として、次の重要ポイントがあります。①「一般財源の確保等」一般財源総額について、子供・子育て支援等の社会問題保障関係費やまち・ひと・しごと創生事業費1兆円の歳出を適切に計上することにより、前年度を上回る62・

1兆円確保している。②「公共施設等の適正管理の推進」公共施設等の老朽化対策をはじめ適正管理を推進するため、「公共施設等適正管理推進事業費」について、河川、港湾等の長寿命化事業やユニバーサルデザイン化事業を対象に追加するなど内容を拡充するとともに、事業費を増額し、0.5兆円を計上している。③「歳出特別枠の廃止及び必要な歳出の確保」平成26年度から行ってきた平時モードへの切り替えを進めるため、公共施設等の老朽化対策・維持補修のための経費や社会保障関係の地方単独事業費の増額に対応した歳出を0.2兆円を確保した上で歳出特別枠（前年度0.2兆円）を廃止し、財政調整を図ることを目的としている。

（推進交付金支援班）沖縄県振興特別交付金の財源スキーム、特別推進交付金の対象事業があり、これまでの実績例・29年度実施事業例として、沖縄らしい優しい社会の構築（離島振興、子育て・福祉、医療）強くしなやかな自立型経済の構築（観光産業の振興、農林水産業の振興）沖縄の発展を担う人材の育成などがあり、平成30年度沖縄振興特別推進交付金の県と市町村の配分として国の予算が608億である。県分は368億円、市町村分は240億円が配分されるとの報告でありました。

編集後記

村民の皆様、こんにちは。

今年も春爛漫の季節を向かえ、本校の小、中学校の卒業式、入学式に参加して子ども達のたくましく、健やかな成長を実感し、新1年生のあどけないしぐさに家庭での深い愛情を感じました。

さて、平成30年度予算が決定し、スタートしました。今年には人口増加に伴い、固定資産税、及び村民税の税収が増加していますが、新庁舎建設事業や民生費、扶助費等の給付費予算の増加で予算総額84億9,513万円となりました。

今回、予算審議の中で「2件の修正動議」が提出され、熱をおびた議論が展開されました。議会は行政の追認機能ではない「議会の承認なしでは事業は進まない」ことを認識し、3月定例会は議会としての機能を十分発揮したと言えます。今後とも村民の目線で議会だよりを通して報告してまいります。大城常良



石原昌雄

新垣貞則

比嘉麻乃

外間博則

仲松正敏

大城常良

議会だより編集委員

題字提供

中城小学校に
トランポリンを
作ってください!!
比嘉恭佑



ありがとうございました。

題字募集!

「ぎかいだより」
の題字の募集をします

中城村の児童・生徒のみならず、
上手も下手も関係ありません!
あなたの字のままでもいいんです。

お問い合わせは 中城村議会事務局
 (☎098-895-4318) まで